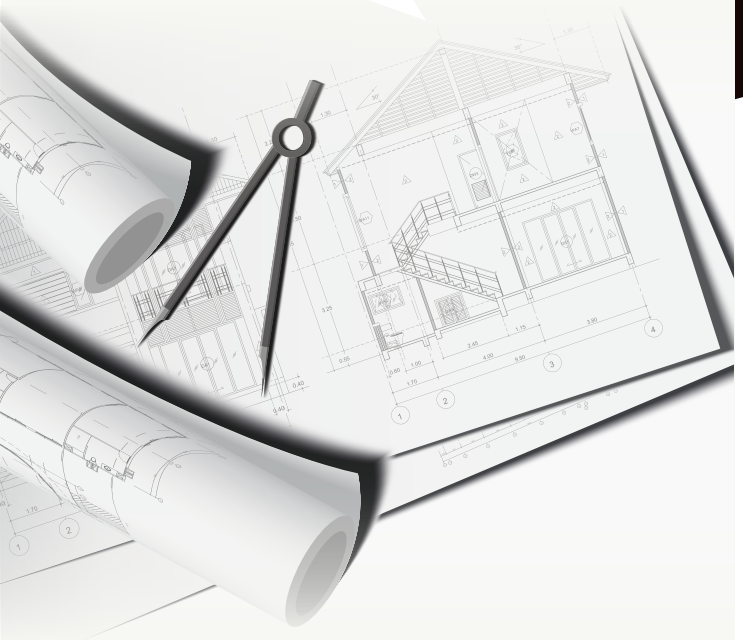
民家に新しい付加価値を見出して、持続性ある住宅として残したい。

日本の長い歴史の中で、各地方の風土に合った形で残されてきた「民家」が経済的な理由や生活様式の変化など、様々な理由で失われようとしています。
私たち「民家再生協会 かごしま」は、後世に残すべき民家を守るため、保護や調査・研究、再利用計画など、民家に対してのあらゆるご相談に対応していける団体として活動しています。



人口の減少に伴い空き家が増え地域環境に悪影響を及ぼすと社会問題になっています。行政も解体工事を代執行出来る法整備を進めており、一方では既存の住宅をリノベーションして使いたいという人も増えてきました。私達は空き家の相談、調査を通して、空家問題解決の手助けにつなげたいと考えています。
まずはお気軽にご相談ください。

https://minkago.com/

人を愛し
民家を愛する
仲間たち

一般社団法人
民家再生協会 かごしま

古民家

古くなった民家の所有者の方

○みずからの住まいとして生かしたい
○安全性の検査や改善をしたい
○手を加えて新たな可能性を見出したい　　など

リフォーム・リノベーションの相談や
耐震性や安全性に関するご相談なども対応します

リノベーション リフォーム

民家の購入・活用をお考えの方

○住宅としての機能を改善・向上したい
○過去と現在の安全基準や法令の違いについて知りたい
○店舗や事務所などへの転用をしたい　　など

一級建築士や宅地建物取引士など、専門的な国家資格を
保有した業界のプロフェッショナルがご相談に応じます。

空家対策

空家問題に悩む地域住民・公共団体の方

○管理者不明の空き家があり、相談先がわからない
○行政・地域が主体となり空家対策のモデルを推進したい
○民家を文化的な建造物として利用、保全したい　など

建築に関わるエキスパートが集まる業界団体だからこそ
責任感と問題意識をもって地域貢献に取り組みます。

民家再生事例

担当会員：小森昌章 / 株式会社小森昌章建築設計事務所

大正時代に建てられた、築100年の古民家の再生。敷地有効利用のため、古民家の一部を解体して敷地内曳家をした後に、2階建部分を新しく増築して古民家と合体させました。天井裏を調べてみると立派な梁があり、既存の天井を取り払い「大空間の居間」として再生。逆に和室には欄間、欄間障子、障子、天井など原型を残して、当時のままの姿で蘇えらせました。

《大切にしたこと》

玄関の雰囲気、窓の木製格子など「残せる部分」は極力残し、建物が持つイメージは変えないように設計。新たに増築した部分は、古民家とのバランスから「土蔵風の外観」として一体感を持たせました。

担当会員：中俣知大 / 一級建築士事務所 数寄楽舎 ㈲

住宅の移転・新築計画の中で、築50年を超えた既存建物にある茶室（二畳向板・向切炉・逆勝手）及び2間続きの和室（6帖+8帖）を移築・再生。その他の新築部分（居間・食堂・台所・水廻り）と一体に設計いたしました。

《大切にしたこと》

茶室は京都高台寺・遺芳席の写しであり、忠実な移築・再生を目指しました。和室2間続きについては、原則として使用可能な材料は再使用。床柱、天井材などの劣化が著しい部分を新規といたしました。

住まいを通じて、皆様の「暮らし」を守るための活動を。

一昔前と比べると家の造り様は格段に進歩しました。しかし「新しい価値観」「多種多様なライフスタイル」「環境の変化」等といった内的、外的要因を受け「空き家の社会問題」を始め様々な問題も出て来ています。
住まいのリフォーム、リノベーションを含む「再生」、効果的な利用を図る「活用」等を考え、住まいを通じて皆様の「暮らし」を守るため日々研鑽しております。「人を愛し、民家を愛する仲間たち」がここに集い活動を始めました。私たちと一緒に勉強、活動をやってみたいと思われる方はお気軽にご一報ください。気のいい仲間一同お待ちしております。

一般社団法人 民家再生協会 かごしま
代表理事　栄 文弘

どうぞお気軽にお問い合わせください

一般社団法人
民家再生協会 かごしま